

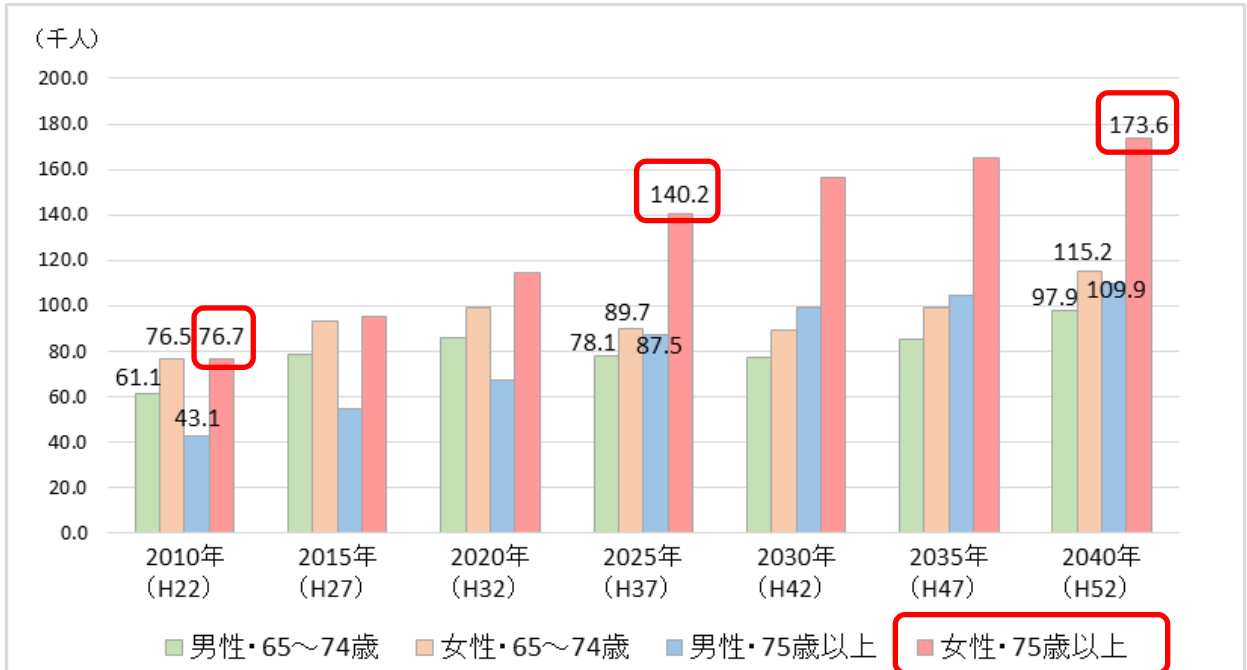
# 補 足 資 料





(1) 女性の後期高齢者の増加

- ・増加する高齢者の中で、最も増加するのが後期高齢の女性で、次いで後期高齢の男性
- ・前期高齢の男女は、平成37年(2025年)頃に一旦減少し、以後、緩やかに増加



出典:福岡市の将来人口推計

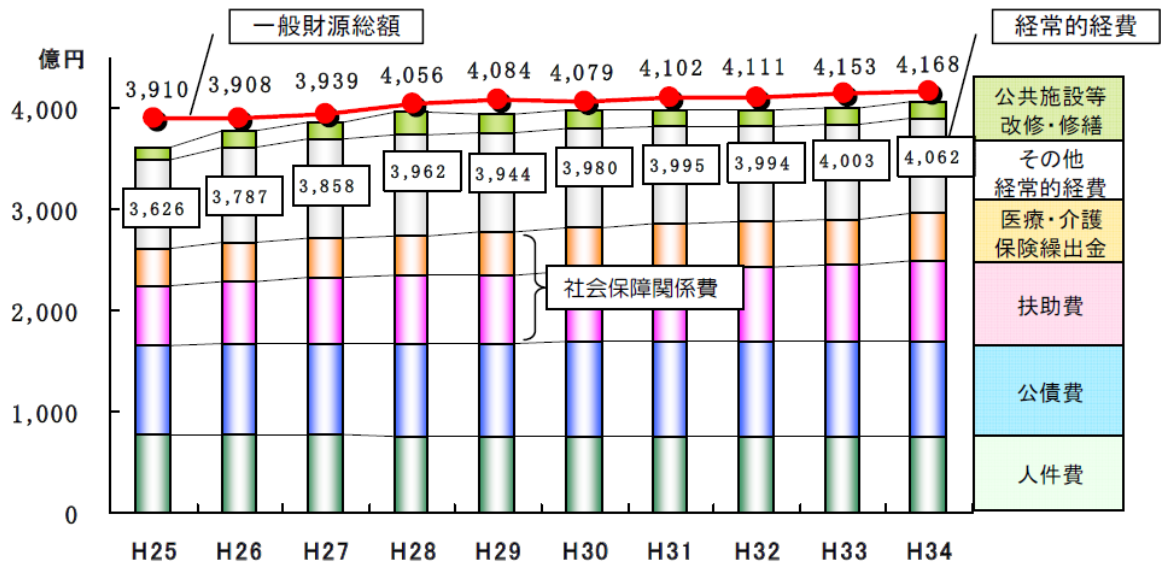
(2) 人口ピラミッドの変化

- ・平成27年(2010年) …弥生式土器のようなつぼ型
- ・平成37年(2025年) …縄文式土器型
- ・平成52年(2040年) …プロペラ型

2015(平成27)年		2025(平成37)年		2040(平成52)年	
男性	女性	男性	女性	男性	女性
31,015	61,727	48,375	90,602	74,767	129,443
23,678	33,649	39,125	49,577	35,158	44,141
31,813	40,126	39,545	46,362	43,792	52,547
46,771	53,038	38,560	43,254	54,130	62,745
44,601	48,375	43,122	47,531	51,109	59,375
41,815	44,605	50,164	55,216	47,260	56,867
45,329	48,618	59,194	64,994	50,930	59,387
51,408	55,703	53,828	60,647	47,393	54,974
59,601	64,580	48,348	57,018	41,322	48,197
54,029	60,025	51,378	58,862	40,530	45,419
48,883	57,158	47,841	54,704	41,646	46,265
52,684	59,501	42,351	48,483	45,016	49,456
46,473	48,361	39,845	40,987	41,453	42,281
35,478	34,957	36,155	34,849	34,480	33,224
33,027	31,314	36,298	34,473	29,971	28,472
33,853	31,983	34,561	32,658	28,146	26,618
36,430	34,491	32,507	30,788	28,116	26,628

出典:福岡市の将来人口推計

(3) 一般財源総額と経常経費の見通し ～現行制度，現状推移を前提とした姿～



(4) 中期的な財政収支の見通し (一般財源ベース) ～現行制度，現状推移を前提とした姿～

単位: 億円

区分	25年度	26年度	27年度	28年度
市税収入	2,686	2,715	2,699	2,736
地方交付税等	781	743	715	740
その他	443	450	525	580
<b>一般財源 総額 ①</b>	<b>3,910</b>	<b>3,908</b>	<b>3,939</b>	<b>4,056</b>
人件費	775	781	771	767
公債費	877	891	914	916
扶助費	605	628	645	663
医療・介護保険繰出金	366	378	392	404
公共施設等の改修・修繕	124	158	160	221
補助費等	323	345	352	354
その他物件費等	556	606	624	637
<b>経常的経費 計 ②</b>	<b>3,626</b>	<b>3,787</b>	<b>3,858</b>	<b>3,962</b>
<b>政策的経費に使える 一般財源 ①-②</b>	<b>284</b>	<b>121</b>	<b>81</b>	<b>94</b>

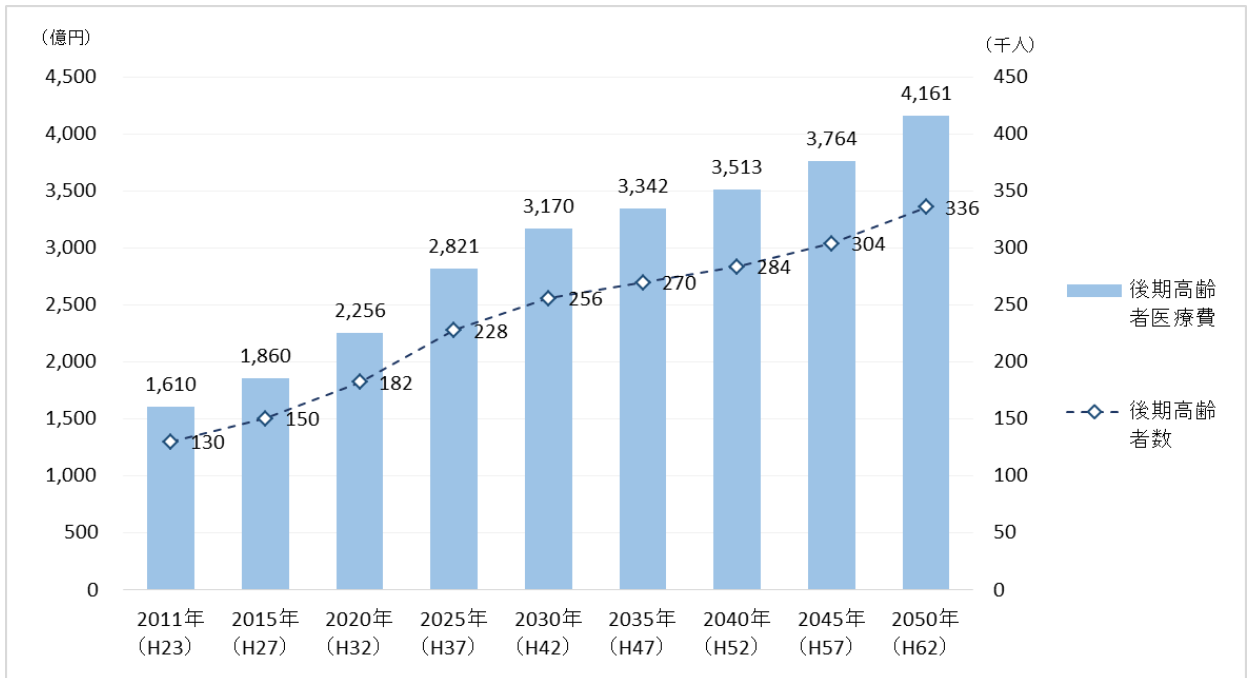
改革を怠れば、重要施策の推進や新たな課題に対応するために使える財源は、今後3年間の合計で300億円程度に減少

<試算の前提>

- ・市税収入等の推計に用いる名目経済成長率は平成24年8月「経済財政の中長期試算」(慎重シナリオ)の成長率を適用 (26年度 2.6% 27年度 1.8%、28年度 2.2%)
- ・地方交付税等は、27年度に調査予定の国勢調査人口を、28年度に反映している。
- ・臨時財政対策債は一般財源(地方交付税等)に計上
- ・一般財源の「その他」は地方譲与税・交付金、財政調整基金繰入金等 (財政調整基金繰入金は、26年度以降計上していない)
- ・歳出は全て一般財源ベースであり、国県支出金や地方債などの特定財源を、事業費から差し引いた金額
- ・人件費、扶助費等の経常経費は、過去の伸び率等を考慮し推計
- ・地方債は26年度以降、800億円で推移するものと仮定

(5) 後期高齢者医療費の将来推計

- ・後期高齢者医療費は、平成 23 年（2011 年）の 1,610 億円が、現状のままいくと、平成 37 年（2025 年）には 2,822 億円（1.8 倍）、平成 52 年（2040 年）には 3,513 億円（2.2 倍）となる見込み。

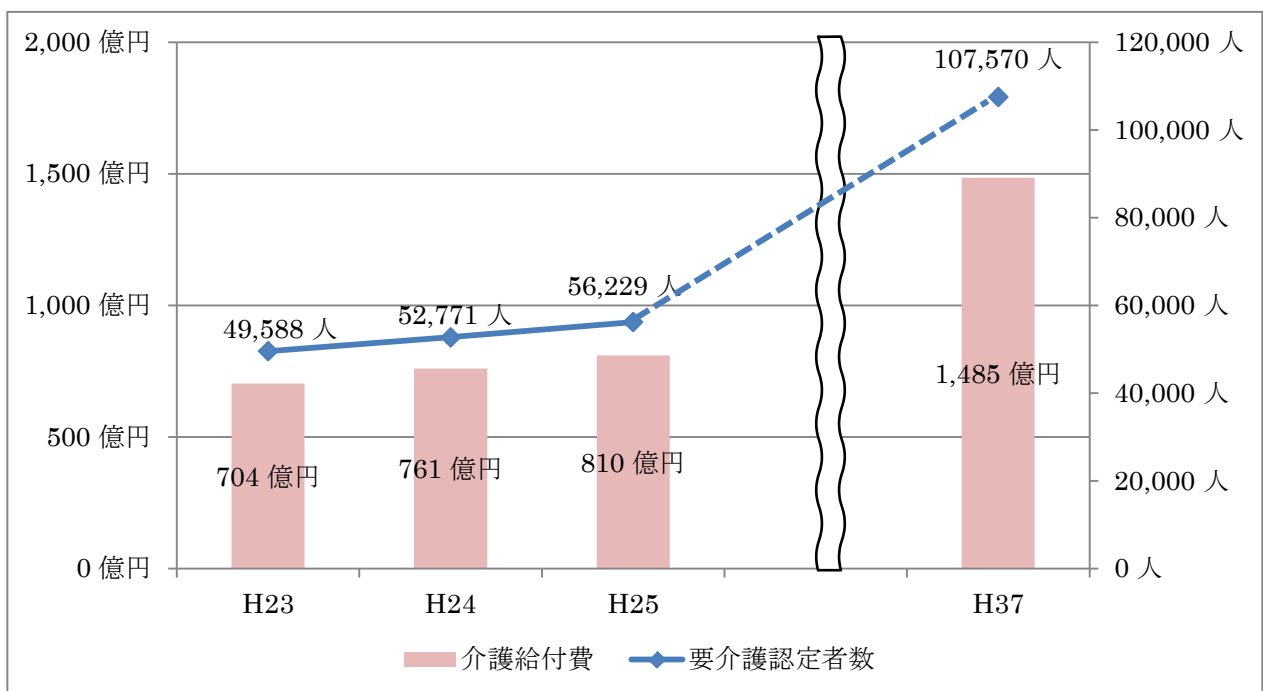


※平成 23 年度（2011 年度）の後期高齢者一人当たり医療費 123 万 9 千円（福岡県の後期高齢者医療費の状況：平成 24 年 5 月診療分(福岡県後期高齢者医療広域連合)）で推計を行った。

※人口は、2015 年以降は「福岡市の将来人口推計」（福岡市）の値を参照した。

(6) 介護給付費の将来予測

- ・介護給付費（地域支援事業費を含む）は、平成 25 年度（2013 年）の 810 億円が、要介護認定者数の伸びなどから予測すると、平成 37 年度には 1,485 億円（1.8 倍）となる見込み。



(7) 市民意識調査の性別・年齢別サンプル数

問10 住民参加による地域での助け合い、支え合い活動への参加状況 上段：％  
下段：サンプル数

性別

	サ ン プ ル 数	参 加 し て い る	た ま に 参 加 し て い る	い ほ と ん ど 参 加 し て い な い	参 加 し て い な い	こ の よ う な 活 動 が あ る	無 回 答
全 体	100.0 1909	14.4 274	18.7 357	18.0 343	26.5 505	20.5 391	2.0 39
男性	100.0 746	13.3 99	18.2 136	17.2 128	29.1 217	20.6 154	1.6 12
女性	100.0 1144	15.0 172	19.1 218	18.7 214	24.8 284	20.5 234	1.9 22
無回答	100.0 19	15.8 3	15.8 3	5.3 1	21.1 4	15.8 3	26.3 5

年齢別

20～29歳	100.0 169	1.8 3	6.5 11	13.6 23	37.9 64	40.2 68	- -
30～39歳	100.0 305	6.9 21	13.1 40	14.4 44	26.6 81	38.0 116	1.0 3
40～49歳	100.0 334	12.9 43	21.9 73	15.9 53	26.3 88	22.5 75	0.6 2
50～59歳	100.0 293	10.6 31	17.4 51	24.9 73	29.0 85	16.4 48	1.7 5
60～69歳	100.0 402	19.7 79	27.1 109	15.9 64	23.1 93	12.7 51	1.5 6
70歳以上	100.0 394	24.4 96	18.0 71	21.8 86	22.8 90	8.1 32	4.8 19
無回答	100.0 12	8.3 1	16.7 2	- -	33.3 4	8.3 1	33.3 4

問11 住民参加による地域での助け合い、支え合い活動への参加意向

上段：%

下段：サンプル数

性別

	サ ン プ ル 数	参 加 し た い	い 機 会 が あ れ ば 参 加 し た	し ど ち ら か と い え ば 参 加	参 加 し た く な い	無 回 答
全 体	100.0 1909	6.8 129	52.8 1007	25.4 485	10.2 194	4.9 94
男性	100.0 746	8.8 66	51.2 382	24.1 180	11.4 85	4.4 33
女性	100.0 1144	5.4 62	53.8 615	26.6 304	9.4 107	4.9 56
無回答	100.0 19	5.3 1	52.6 10	5.3 1	10.5 2	26.3 5

年齢別

20～29歳	100.0 169	2.4 4	49.7 84	32.5 55	13.0 22	2.4 4
30～39歳	100.0 305	6.2 19	50.2 153	32.5 99	7.9 24	3.3 10
40～49歳	100.0 334	5.7 19	55.7 186	27.8 93	9.0 30	1.8 6
50～59歳	100.0 293	5.1 15	60.1 176	21.8 64	8.9 26	4.1 12
60～69歳	100.0 402	6.2 25	58.7 236	22.9 92	8.5 34	3.7 15
70歳以上	100.0 394	11.7 46	42.1 166	20.6 81	14.5 57	11.2 44
無回答	100.0 12	8.3 1	50.0 6	8.3 1	8.3 1	25.0 3